

- 《履修上の留意事項》1. 学生の都合を考慮しながら一部集中講義で実施する。  
2. 学内での演習の他に、地域ニーズ調査演習については学外での演習を伴う。

《担当者名》○大原 裕介（客員）ohara@yu-yu.or.jp 近藤 綾香（非） 酒井 美結（非）

## 【概 要】

本科目は、地域における高齢や障害、病気や生活困窮など、自分とは異なる経験や暮らしをする人のニーズを、潜在的に存在するものも含め、適切かつ俯瞰的に把握する力を養う。また福祉的なニーズの把握だけではなく、地域経済や地域産業の「地域ニーズ」をも把握し、地域を循環させる持続可能な事業構築の思考と手法について、事業構想演習などを通じて身につけるものとする。

## 【学修目標】

1. 専門職としてベースとなる正義や価値観について学びを深める。
2. 地域における政策や制度、経済や産業構造・文化等を俯瞰的に把握し、どのような人がどのような暮らしをしているのかの状態を理解することができる。
3. 福祉分野にとどまらない必要な社会資源を見つけ、つなぎ、組み合わせ、活用し、地域経済を継続的に循環させる視点について理解を深め、ソーシャルアクションプランを構築することができる。

## 【学修内容】

| 回 | テーマ                                  | 授業内容および学修課題                                                                                             | 担当者      |
|---|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 1 | オリエンテーション                            | 本授業のねらいについて共有する。                                                                                        | 大原、近藤、酒井 |
| 2 | 地域共生社会の政策理解<br>地域経済循環モデル事業について理解を深める | わが国における地域共生社会の実現に関する政策について理解する。<br>地域経済を循環させている、いくつかの全国の先進モデルについて講義を実施する。                               | 大原、近藤、酒井 |
| 3 | ファシリテーション技術の理解と演習Ⅰ                   | ファシリテーションの手法を学ぶ。<br>ファシリテーションの重要性を理解できる。<br>その上で、実際にファシリテーションを行う。                                       | 大原、近藤、酒井 |
| 4 | 地域ニーズ調査演習Ⅰ                           | 実際の地域における調査を実施する。<br>地域における政策や制度、経済や産業構造・文化等を俯瞰的に把握し、どのような人がどのような暮らしをしているのかの状態を理解する。                    | 大原、近藤、酒井 |
| 5 | 地域ニーズ調査演習Ⅱ                           | 実際の地域における調査を実施する。<br>地域における政策や制度、経済や産業構造・文化等を俯瞰的に把握し、どのような人がどのような暮らしをしているのかの状態を理解する。                    | 大原、近藤、酒井 |
| 6 | ファシリテーション技術の理解と演習Ⅱ                   | 訪問調査に向け、他者へ自らの考えを伝え、他者の考えを聞く、グループでのコミュニケーションについて演習を通し学ぶ。特に、初めて会う方々の意向をくみ取り、こちらの意向を伝える、などの実際を体験する。       | 大原、近藤、酒井 |
| 7 | ファシリテーション技術の理解と演習Ⅲ                   | 訪問調査に向け、他者へ自らの考えを伝え、他者の考えを聞く、グループでのコミュニケーションについて演習を通し学ぶ。特に、初めて会う方々の意向をくみ取り、こちらの意向を伝える、などの実際を体験する。       | 大原、近藤、酒井 |
| 8 | 事業構想作成演習.1                           | 座学による地域ニーズ調査結果をもとに事業構想を作成する。<br>必要な社会資源を見つけ、つなぎ、組み合わせ、活用し、地域経済を継続的に循環させる視点について理解を深め、ソーシャルアクションプランを構築する。 | 大原、近藤、酒井 |
| 9 | 事業構想作成演習.2                           | 座学による地域ニーズ調査結果をもとに事業構想を作成する。<br>ソーシャルアクションプランを構築する過程において不足している情報や知識などを把握し、訪問調査計画                        | 大原、近藤、酒井 |

| 回             | テーマ                   | 授業内容および学修課題                                      | 担当者      |
|---------------|-----------------------|--------------------------------------------------|----------|
|               |                       | を作成する。                                           |          |
| 10<br>(<br>13 | 訪問調査                  | 地域ニーズ調査を深めるために訪問調査を実施する。<br>自ら立てた事業構想とのすり合わせを行う。 | 大原、近藤、酒井 |
| 14            | 事業成果報告<br>(プレゼンテーション) | 訪問調査によりすりあわせた内容をもとに、事業構想<br>の成果報告を行う。            | 大原、近藤、酒井 |
| 15            | まとめ                   | 全体の振り返り                                          | 大原、近藤、酒井 |

#### 【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【アクティブ・ラーニング】

導入している

#### 【評価方法】

地域における調査・事業構想プラン（80%） 授業に参加する態度や姿勢、行動力（20%）

#### 【教科書】

教科書は使用しない

#### 【学修の準備】

予習：マスメディア等で報じられる、人口減少・超少子高齢化社会であるわが国を取り巻く社会課題や社会問題に対し関心を寄せ、自分の考え方や意見を整理しておくこと。（予習30分）

復習：講義や演習で実施された内容について、自分が暮らす地域や取り巻く生活環境と照らし合わせて推察すること。（復習30分）

#### 【ディプロマ・ポリシーとの関連】

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

#### 【実務経験】

大原裕介（社会福祉士）

#### 【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉法人ゆうゆうの理事長としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。

#### 【その他】

この科目は主要授業科目に設定している